

ひばりの秋の大運動会開催！

ひばり新聞



号外

発行月

11月

笑顔と歓声が響く楽しい運動会

十月から十一月にかけて、ひばり幼稚園では学年ごとに園の総合グラウンドで運動会が開催されました。

つばさ組から年中組までは「かけっこ」が行われ、子どもたちはゴールを目指して元気いっぱい走りまわりました。「よいい、ドン！」の合図とともに一生懸命に駆け抜ける姿に、保護者の皆様から「頑張れ！」と大きな声援が送られ、ゴール後には笑顔と達成感にあふれた表情が見られました。

年長組では、運動会の花形ともいえる「ひばりリレー」が行われました。一人ひとりがバトンをつなぎ、全力で走る姿はまさに圧巻。チームの仲間と力を合わせてゴールを目指す真剣な姿に、会場からは大きな拍手と応援が飛び交い、子どもたちは達成感いっぱいの表情を見せていました。



全学年が行った「チエツチエツコリ玉入れ」では、音楽に合わせて踊りながら玉入れに挑戦し、会場全体が笑顔と歓声に包まれました。また、保護者競技として実施された大玉送りや玉入れでは、保護者の皆様も全力で参加。子どもたちの「頑張れ！」という声援を受けながら、熱い戦いが繰り広げられました。

この日のために、子どもたちは一生懸命に練習に励み、仲間と協力しながら本番に向けて準備を重ねてきました。その努力が本番での全力の姿や自信に満ちた表情につながり、運動会を成功させる原動力となり、子どもたちの成長と笑顔が輝いた運動会となりました。

年長組が「食育」で秋刀魚を学ぶ

年長組では、正課活動「食育」の一環として、さんまをテーマにした授業が行われました。

まず、生のさんまを実際に触る体験からスタート。「冷たいね！」「つるつるしてない！」と、子どもたちは普段触れることのない魚に興味津々の様子でした。先生からは、さんまの生態やどこで獲れるのか、食卓に届くまでの流れについてのお話があり、子どもたちは目を輝かせながら聞き入っていました。

さらに、命をいただくことの大切さについて学ぶ時間では、「食へることは命をいただくこと」という先生の言葉に、子どもたちは真剣な表情で耳を傾けていました。

最後に、焼いたさんまを使った骨の取り方に挑戦。慎重にお箸を使いながら骨をきれいに取り、「見て！こんなに取れたよ！」と達成感に満ちた笑顔を見せていました。保護者の皆様からも、「子どもたちが集中して取り組む姿に感動しました」との声が寄せられました。

今回の活動を通して、子どもたちは魚を食べる楽しさと日本の食文化への理解を深めるとともに、命への感謝の気持ちを育むことができました。



真剣に取り組む避難訓練

今回はひばり幼稚園各園で避難訓練を実施しました。今回は、園庭までの避難を想定した訓練が行われ、一部のクラスでは避難滑り台を使用した避難も行われました。緊張感のある中、子どもたちは先生の指示に従い、速やかに行動することができました。

訓練開始時、放送が園内に響くと、子どもたちは防災頭巾を素早く被り、机の下に身を隠して身を守る姿勢を取りました。その後、避難経路に沿って園庭まで移動し、避難滑り台を使ったクラスでは子どもたちが真剣な表情で次々と滑り降りる姿が見られました。

避難訓練後には、防災に関するお話が行われ、災害時に自分の身を守る方法や行動について学ぶ時間が設けられました。

ひばり幼稚園では、普段から防災頭巾の正しい被り方や、災害時に必要な行動を伝え、子どもたちの防災意識を高める取り組みを行っています。こうした活動を通じて、いざという時に安全を守る力を育み、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに努めています。



今月のお知らせ

臨場感ある運動会

Instagramでは運動会の様子を動画でもご紹介しておりますので、ぜひご覧ください！

いいね・フォローも大歓迎です♪



@HIBARI_KINDERGARTEN